

第38回全日本少年軟式野球大会 石川県予選 抽選会・準備会

- 1 日時 令和3年 6月2日(水) 17:00~
- 2 場所 津幡町立津幡南中学校 1階会議室
- 3 出場校 加賀地区…A:星稜中(金沢市) B:根上中(能美市)
能登地区…1位:中能登中(鹿島郡) 2位:緑丘中(珠洲市)
- 4 確認事項
 - ①要項の確認
 - ②運営について
グラウンド整備は、競技役員(大人)が行う。
※グラウンド内で選手が密にならないために。
 - ③ボールボーイ、記録員室の各係は競技役員(大人)が行う。
 - ④練習会場は特に設けない。
 - ⑤選手申し込み以後の選手変更は認めない。
 - ⑥本大会の優勝チームは、7月3日(土)、4日(日)※予備日5日(月)の第38回全日本少年軟式野球大会北信越ブロック予選会(富山県・富山市民球場)に石川県代表として出場する。
 - ⑦今大会はプログラムの販売は行いません。大会当日、各チームに2部配付します。
 - ⑧当日、会場入りの際に以下の書類を提出してください。
※提出後に、ベンチ入り、観客席への入場を許可します。
 - ・大会参加同意書(ベンチ入り選手1人1枚)
 - ・健康チェックシート(ベンチに入る監督・コーチ・選手等全員を記載)
 - ・体温測定記録(5月31日~6月4日。ベンチに入る監督・コーチ・選手等全員を記載)
 - ・観客席入場者名簿(「ベンチ外の生徒」と「3年生の保護者」で観客席に入場する方全員分を記載してください。)
 - ⑨今大会は、感染症拡大防止の観点から、観客席への入場は「ベンチ外の部員」と「3年生の保護者」のみとします。各校で保護者の方への周知をお願いします。観客席へ入場する方を上記の書類に取りまとめて提出してください。その際、虚偽の報告がないようお願いいたします。
 - ⑩試合と試合の間に「ベンチ内消毒」を実施します。消毒完了の合図後、ベンチ入りしてください。
- 5 抽選について
同一地区のチームは1回戦であたらない。次のように抽選する。
 - ①能登地区の1位チームが2、3からくじを引く。2位チームは自動的に残ったくじとなる。
 - ②参加申込書を提出した順に加賀地区の2チームが予備抽選を行う。その後、順に1、4からくじをひく。

第38回全日本少年軟式野球大会 石川県予選 実施要項

- 1 主催 石川県野球協会
2 共催 石川県教育委員会 石川県中学校体育連盟
3 主管 石川県中学校体育連盟軟式野球競技部
4 後援 北國新聞社
5 会場 宝達志水野球場（羽咋郡宝達志水町吉野屋ヲ156） 0767-29-4239
6 会期 2021年 6月5日（土） ※雨天予備日 6月6日（日）
7 出場チーム 加賀地区、能登地区よりそれぞれ2チーム計4チームとする。

8 出場資格

- (1) 春の加賀地区大会、能登地区大会のそれぞれ上位2チームとする。
(2) 1チームのメンバーは、平成18年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた中学校年齢の20名以内とすること。
(3) チームの代表者を届け出ること。
(4) 監督は、選手登録の枠外で登録することとし、背番号は30番とする。
(5) 代表者及び監督は、原則として当該校の教員であること。
(6) コーチを置く場合は、2名以内を選手登録の枠外で登録できることとし、背番号は1名の場合は29番、2名の場合は28番、29番とすること。

（注）細部については、全日本軟式野球連盟競技者必携に準ずる。

- 9 適用規則 2021年公認野球規則及び競技者必携に定める規則を適用する。
10 使用球 石川県野球協会公認球M号を使用する。
11 参加申込 出場資格を得たチームは、所定の申込用紙を6月1日（火）までに下記に必着させること。もしくは、抽選会当日に持参すること。
参加料は、当日持参すること（抽選会の日も可です）。

〒929-0343 河北郡津幡町字南中条3-7

高田 大輔 宛（石川県中体連軟式野球競技部専門委員長）

- 12 組合せ抽選 ~~主管役員立ち会いのうえ、下記により代理抽選する。~~

※今年度は出場校顧問出席の抽選会を行います。

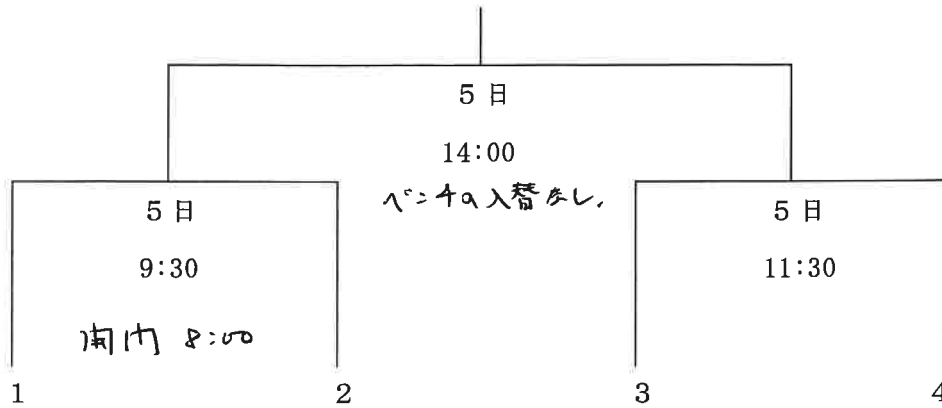
実施日 2021年6月2日（水）17：00～

場所 津幡町立津幡南中学校 会議室

※加賀地区、能登地区のチーム同士が1回戦で対戦しないようにする。

石川県代表

※ 番号の若いほうが一塁側



13 競技方法

- (1) トーナメント方式とし、各試合は7イニングスとする。
- (2) 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差とする。但し決勝戦は採用しない。
- (3) 日没及び降雨によるコールドゲームは、継続試合とする。
- (4) 7回を終了して勝敗が決しないときは8回より特別ルールによる特別延長戦を行い、勝敗を決定する。

【特別延長戦】

7回終了時の継続打順で無死一・二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。

- (5) その他については別に定める。

14 表彰 優勝及び準優勝チーム (注) 優勝チームは下記の大会に出場すること。

北信越大会 7月3日(土), 7月4日(日) 富山県

15 参加料 20,000円

16 旅費・宿泊費 本大会における旅費・宿泊費は、全て参加チーム負担とする。

17 その他

- (1) 開会式は行わない。
- (2) 第1試合のチームは試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降は前の試合の4回終了時に、監督・主将は定められた打順表に出場メンバーを記入して本部に提出し、照合を受けた後、攻守を決定する。(5部提出)
- (3) シートロックは5分とする。
- (4) 次試合のチームはベンチ内の消毒作業が終了し、係員の合図の後にベンチ入りし、試合の準備を行うこと。
- (5) 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (6) 小雨の場合でも球場使用可能な状態になれば、開始時刻を遅らせても試合を実施することがある。
- (7) 参加申込後は、選手の追加・変更及び背番号の変更は認めない。
- (8) 参加者は、全員傷害保険に加入しておくこと。
- (9) 出場選手は必ずユニホームに背番号をつけること。(1番より30番までの背番号以外は許されない。監督は30番、コーチは28・29番、主将は10番とする。)
- (10) 打者、走者、ベースコーチとも公認マーク入りのヘルメットを着用すること。

(11) 捕手は、必ず公認マークの入ったマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース及び急所（ファール）カップを着用する。マスクにはスロートガードを付けること。

(12) 監督が投手のところに行く回数の制限

- ① 監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦（特別延長戦も含む）は、1イニングに1回行くことができる。
- ② 「投手のところに行く」とは、監督がタイムをとってグラウンドに出て、投手または投手を含む野手が集まっている所で指示を与える状態を指す。投手の方からファールラインを超えて、監督の指示を受けた場合も同じとする。
- ③ 監督が、同一イニングに同一投手のところへ2度目に行くか、行ったとみなされた場合（伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合）は、投手は自動的に交代しなければならない。

(13) 守備のタイムに関わる制限

- ① 捕手または内野手が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦（特別延長戦も含む）は、1イニングに1回行くことができる。
- ② 野手（捕手を含む）が投手のところへ行ったら、そこへ監督が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とする。投手交代の場合は、監督のみ回数には含まない。

(14) 攻撃側のタイムの制限

攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦（特別延長戦も含む）は、1イニングに1回とする。

(15) 選手の使用する用具、装具の細部の規定については、県中体連の具体規約に準ずる。

- ① ヘルメットはSGマークのついた物を、チームとして色やデザインは同一の物を着用する。また、安全性が確保できないと判断された物（例：保護パット不装着、ひび割れ等）は使用できない。
- ② 捕手の装具は、連盟公認のマークのついた物を使用する。マスクでスロートガード一体型のものは、スロートガードをつける必要はない。
- ③ 野球用の手袋は打者、走者、投手以外の守備に使用できる。リストバンドを兼ねたような物は禁止し、手首から先の物とする。色は白・黒等の単色のみとする。
- ④ レッグガード・エルボーガードは原則使用禁止とする。事情により使用を希望する場合は、メンバー用紙の交換時に大会本部に申し出て許可を得ること。
- ⑤ 滑り止めスプレーの使用を禁止する。
- ⑥ リストバンドは使用できない。また、サポーター（手首や指を固定、保護する目的の物）の使用は医療目的に限り、試合前に大会本部に申し出て許可を得ること。
- ⑦ グラブに刺繍で、個人名、番号、その他の文字を入れるなどしてはならない。

(16) 応援についても同様とし、太鼓等の鳴り物やブラスバンドの応援を認めないこととする。

(17) 本大会においては、投手の投球制限の規定を適用する。

投手の投球数は、1日100球以内とする。ただし、100球に到達した打者まで投げることができる。